

保育所の空き定員等を活用した未就園児の 定期的な預かりモデル事業の実施について

[目的]

保育所等を利用していない未就園児を、保育所等で定期的に週 1～2 日預かることにより、他のこどもと一緒に過ごしたり、遊んだりする経験を通して、こどもの発達を促すだけでなく、保護者とこどもが一緒にいる時間を減らすことにより、保護者の子育ての負担や不安を軽減し、虐待につながるリスクを減らすことを目的としている。

事業は、定員に空きのある保育所等において実施し、未就園児を定期的に預かり、利用促進の方法、利用の調整、要支援家庭等の確認方法や保護者に対する関わり方などを具体的に検討し、保育所等の多機能化に向けた効果を検証するモデル事業である。

[対象児童]

保育所等に通所していない未就園児（0～2歳）

※ 未就園児 0歳：670人、1歳：392人、2歳：384人、計1,446人

[実施場所]

地域子育て支援センターゆめふうせん（認定こども園さくら内）

[利用児童数]

3人/日

[利用料]

無料

[利用時間]

1日6時間

（地域子育て支援センターの開所時間：9:00～15:00）

[事業費]

令和5年度 予算額6,279千円

（5,651千円 国庫補助9/10 628千円 一般財源1/10）

[事業の効果]

- ①子育てに悩みを抱えた保護者がこどもと一緒にいる時間を減らすことにより、保護者の子育ての負担や不安を軽減し、虐待につながるリスクを軽減することができる。
- ②未就園児の発育状況や保護者の育児に関する認識を把握し、支援に繋ぐことが可能となる。

【問合先】 こども未来部 子育て支援課
こども家庭センター準備係 石川
TEL：0282-21-2165